

第41期

中間報告書

平成27年3月1日から平成27年8月31日まで

POPLAR

小型小売店のシステム支援企業として、 他チェーンとは同質化しない独自の 事業構造を確立してまいります。

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、ここに当社第41期中間報告書(平成27年3月1日から平成27年8月31日まで)をお届けし、事業の概況をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



敬具

平成27年11月

代表取締役社長 目黒 真司

当中間期の業績について

輸出関連企業を中心とした業績改善を背景に緩やかな回復基調が続いているものの、中国の景気に対する不安が高まり、先行きの不透明感から個人消費、小売指数も停滞傾向が鮮明になりました。

このような状況のもと、当社グループは、中期計画“新創業”の1年目として、お客様第一、顧客満足のさらなる向上に向けた戦略の実現の為の取り組みを推進し、当中間期の業績は、チェーン売上高32,349百万円(前年同期比16.4%減)、営業総収入20,079百万円(同21.7%減)、営業利益105百万円(前年同期実績：営業損失214百万円)、経常利益129百万円(同：経常損失209百万円)、また、四半期純利益139百万円(同：四半期純損失259百万円)となりました。

当中間期の取り組み施策について

●業務改革の状況

業務改革第2ステージの取り組みとして、主力取引先と月次でビッグデータ分析をもとにカテゴリギャップを分析、仮説検証を繰り返すことで、飲料、菓子、酒、加工食品、雑貨など主力カテゴリの販売は前年同期を大きく上回りました。

また、加盟店向けの業績管理システムのパイロット店舗での運用を行い、個店の売場ごと週単位での業績を見える化、個店の売上・利益改善の高度化を開始しました。

これら、MD(マーチャンダイジング)改革や営業改革など商品営業一体の業務改革に取り組み、より顧客ニーズに適合する店づくりを推進した結果、当中間期での既存店売上前年同期比は101.2%を達成いたしました。

●商品・サービスの状況

商品面では、中食商品の品揃えの強化及びクオリティの向上を推進しており、この結果、主力のポップ弁の売上は既存店前年ベースで30カ月以上連続100%を上回っています。

また、楽天株式会社との新たな取り組みとして、ネットで注文いただいた商品を指定の場所で受け取れる「楽天デリバリーサービス」、ネットでオーダーした商品を店舗で受け取れる「テイクアウトサービス」を開始いたしました。

「Rポイントカード」サービスでは、ボーナスポイントが貯まるキャンペーンを継続的に実施し、新規会員の獲得と来店頻度の向上に努めました。

今後の見通しについて

第41期の通期連結業績の見通しといたしましては、営業総収入は38,291百万円(前連結会計年度比21.5%減)、営業利益は249百万円(前連結会計年度実績：営業損失945百万円)、経常利益は265百万円(同：経常損失925百万円)、当期純利益は106百万円(同：当期純損失1,923百万円)を見込んでおります。

経営理念

- 1 常に新しい利便性を追求し、お客様に必要とされる企業になる。
- 2 オーナーに信頼され、取引先、株主様に支持される企業になる。
- 3 商業の正道をもって利益を追求する企業になる。
- 4 社員能力の育成をもって企業発展の礎とし、ひとりひとりの生涯設計のできる企業になる。

ポプラグループのストアブランド

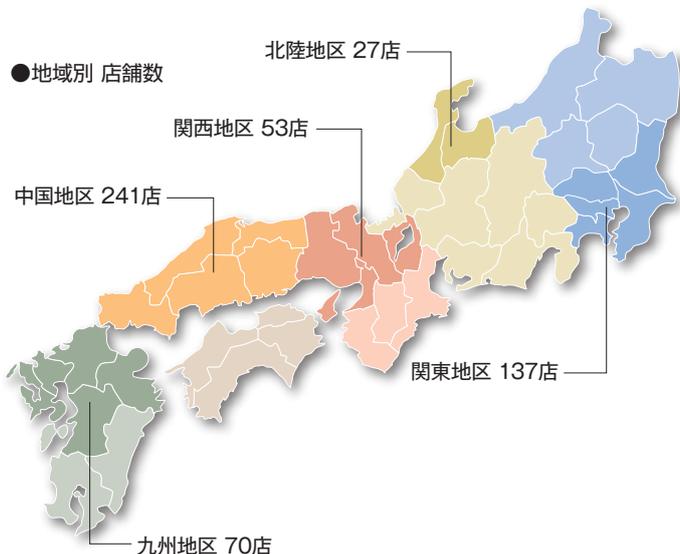


ポプラグループは、住宅街やロードサイドなど、郊外立地を中心に展開する「ポプラ」に加え、都市型コンビニエンスストア「生活彩家」、高速道路にゆとりの空間を彩る「ハイウェイ彩家」、関東・関西地方を中心に展開する「くらしハウス」、「スリーエイト」といった複数のブランドを有し、立地・顧客特性に応じた出店でお客様に支持されるコンビニエンスストアチェーンを目指します。

新規出店の状況

新規出店は、法人加盟の開拓と企業コラボによる出店を推進し、伊丹市役所(兵庫県)、目黒区役所(東京都)などの庁舎内出店や、長崎県対馬病院や長崎県壱岐病院などの病院内出店ほか合計18店舗(閉店15店舗)を実施し、期末店舗数は528店舗となりました。

	前期実績(通期)	当中間期実績	下期計画
出 店	34	18	41
閉 店	164	15	15
期末店舗数	525	528	554



【ポプラ】

- pal八頭部家駅店(鳥取県)
- 金沢駐屯地店(石川県)
- 信太山駐屯地店(大阪府)
- 別府駐屯地店(大分県)
- 田川川崎店(福岡県)

【生活彩家】

- リーガロイヤルホテル広島店(広島県)
- 伊丹市役所店(兵庫県)
- 明石ころのホスピタル店(兵庫県)
- 神代病院店(福岡県)
- 目黒区役所店(東京都)
- 松戸市役所店(千葉県)
- 広島合同庁舎店(広島県)
- 宍道湖SA上り店(島根県)
- 長崎県対馬病院店(長崎県)
- 長崎県壱岐病院店(長崎県)
- 肥前精神医療センター店(佐賀県)
- ひらまつ病院店(佐賀県) 他

トピックス1 『おでん』 売上拡大中!!

ポプラでは、秋冬の主力商品として女性やシニア層をターゲットに、『おでん』に力を入れています。

だしは魚介系、畜肉系、野菜系原料を絶妙に組み合わせたトリプルスープと白醤油をバランスよく使用することで、旨み、コクがありつつも具材が引き立つ高級料亭のようなおいしいおでんだしに仕上げました。

販売促進策も昨年以上に投入し、集客の強力な要素の一つになっています。



四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期末 平成27年8月31日現在	前期末 平成27年2月28日現在
POINT 1 流動資産	4,477	6,415
固定資産	9,294	9,929
有形固定資産	5,587	5,831
無形固定資産	732	814
投資その他の資産	2,975	3,283
資産合計	13,772	16,344

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

科 目	当第2四半期末 平成27年8月31日現在	前期末 平成27年2月28日現在
POINT 2 流動負債	6,438	8,942
固定負債	4,300	4,585
負債合計	10,739	13,527
株主資本	2,746	2,647
その他の包括利益累計額	287	170
純資産合計	3,033	2,817
負債純資産合計	13,772	16,344

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期 (累計) 平成27年3月1日から 平成27年8月31日まで	前第2四半期 (累計) 平成26年3月1日から 平成26年8月31日まで
POINT 3 売上高	18,170	23,605
営業収入	1,908	2,048
売上原価	14,235	18,418
営業総利益	5,843	7,235
販売費及び一般管理費	5,737	7,449
営業利益 (△損失)	105	△ 214
営業外収益	43	37
営業外費用	20	32
経常利益 (△損失)	129	△ 209
特別利益	72	169
特別損失	34	66
税金等調整前四半期純利益 (△損失)	166	△ 105
法人税、住民税及び事業税	31	45
法人税等調整額	△ 4	108
少数株主損益調整前四半期純利益 (△損失)	139	△ 259
四半期純利益 (△損失)	139	△ 259

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

営業総収入の内訳

	当中間期末実績 (単位：百万円)	前年同期比 (%)
小 売 部 門	12,287	69.30
卸 売 上 部 門	5,003	96.00
加盟店からの収入	952	94.30
その他の営業収入	956	92.10
そ の 他 の 事 業	878	131.60
合 計	20,079	78.30

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務情報の開示について

詳細な財務情報については、当社ホームページの「IR情報」にて開示しております。下記のURLからご参照ください。

<http://www.poplar-cvs.co.jp/ir/>

POINT 1 流動資産

前期末は休日であったため現金及び預金が増加しておりましたが、当中間期末は平日のため流動資産が前期末に比べ1,938百万円減の4,477百万円となりました。

POINT 2 流動負債

前期末は休日であったため仕入債務が増加しておりましたが、当中間期末は平日のため流動負債が前期末に比べ2,503百万円減の6,438百万円となりました。

POINT 3 売上高

売上高の内訳は、当社直営店舗の小売売上高12,287百万円（前年同期比30.7%減）、フランチャイズ加盟店に対する卸売上高5,003百万円（同：4.0%減）、その他の事業878百万円（同：31.6%増）です。

トピックス2 女性向け商品充実

ポプラでは、女性をターゲットに開発した商品を発売しています。

「بوب弁Light」はご飯を除いて300キロカロリー以下に抑えた弁当カテゴリとして「肉団子あんかけ弁当」など今後続々と発売していきます。

また、鮮度の高い材料を使用した菓子パン・総菜パンシリーズ「フレッシュベーカリー」や電子レンジで温めると一層おいしい「ホットスイーツベーカリー」、お手軽サイズで持ちやすい形の容器とお箸で食べる手軽さを両立させたお手頃価格の「お箸でパスタ」シリーズやお惣菜、カップサラダなど、女性のニーズに合わせた商品力強化を行っています。



会社情報 / 株式情報

会社概要

(平成27年8月31日現在)

社名	株式会社ポプラ
本社	〒731-3395 広島市安佐北区安佐町大字久地665-1
資本金	24億1,013万7,725円
設立	昭和51年(1976年)4月20日
チェーン店舗数	528店舗
従業員数	440名
事業内容	当社は、フランチャイズチェーンシステムによるコンビニエンスストアの経営を主要業務として営んでおります。

主な子会社

(平成27年8月31日現在)

会社名	資本金(千円)	出資比率(%)	主要な事業内容
大黒屋食品株式会社	10,000	100	食品製造卸事業
ポプラ保険サービス 株式会社	3,000	(注)100 (73.3)	保険代理店事業

(注) 出資比率には、間接所有分()を含めて記載しております。なお、その内訳は、当社26.7%、大黒屋食品株式会社73.3%となっております。

役員

(平成27年8月31日現在)

代表取締役会長	目黒 俊治	常勤監査役	宮崎 進
代表取締役社長	目黒 真司	社外監査役	白田 耕造
取締役副社長	中間 昭登	社外監査役	大野 勝美
取締役	野村 一雄		
取締役	市村 英世		
社外取締役	藏田 和樹		

Corporate Data/Stock Data

株式の状況

(平成27年8月31日現在)

発行可能株式総数	36,160,072株
発行済株式の総数	9,905,822株
株主数	11,986名

第40期末に比べ1,664名増加しました。

大株主(上位10名)

(平成27年8月31日現在)

株主名	持株数	持株比率
目黒 俊治	2,192,144 株	22.13 %
ポプラ協栄会	1,695,309	17.11
株式会社ローソン	495,300	5.00
ポプラ社員持株会	309,331	3.12
株式会社広島銀行	212,960	2.14
三菱食品株式会社	175,655	1.77
株式会社もみじ銀行	172,934	1.74
日本生命保険相互会社	136,060	1.37
東京海上日動火災保険株式会社	133,920	1.35
三菱UFJ信託銀行株式会社	133,100	1.34

(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別株主分布状況



(平成27年8月31日現在)

所有者別株式分布状況



(平成27年8月31日現在)

コミュニケーションツールのご紹介

当社のホームページでも様々な情報を公開しております。

<http://www.poplar-cvs.co.jp/>



株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月に開催
期末配当金基準日	毎年2月末日
中間配当金基準日	毎年8月31日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話0120-094-777 (通話料無料)
公告方法	電子公告といたします。
公告掲載URL	http://www.poplar-cvs.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

上場金融商品取引所 東京証券取引所市場第一部
証券コード 7601

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんので、ご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 除斥期間満了前の未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

